

# みらい家電応援

—環境や、人に優しい家電の普及促進—



## 再生可能エネルギー商品の拡販

第60期より、住設事業部に「再生エネルギー推進室」を立ち上げ、再生エネルギー事業に力を入れています。太陽光発電と蓄電池の組み合わせにより、節電対策・環境対策・防災対策など、安全・安心につながる提案を行っています。第61期には、住設部門の提案力強化のための店舗改装を10店舗に実施し、家庭のエネルギーの見える化のため、お客様に分かりやすく関連商品をご紹介します。また、週末には住設専任担当者が店頭でイベントを行い、電気代の削減方法などについてご案内を行っています。



太陽光発電と蓄電池のセット使用の提案

## 外壁屋根塗装・水回りリフォームの強化

外壁屋根塗装や水回りのリフォームなども強化しており、お客様のお住まいの近くに店舗を構える当社だからこそできる、お客様のお悩みに寄り添った提案を行っています。また、住設コールセンターを新設し、お客様に対してのTELコールを進めています。TELコールのメニューでは、太陽光発電・蓄電池のご提案や、エアコンやエコキュートなど快

適にご利用いただくために定期的な点検が必要な商品に対する「おうち点検」のお勧めなどを行っています。



住設コールセンター



リフォーム相談カウンター



外壁屋根塗装の紹介



キッチン・水回りリフォームコーナー

### お客様に寄り添った提案を心がけています

当社の強みは、お客様のお住まいの近くに店舗を構える身近な家電量販店として気軽にご来店いただけること、そしてビックカメラグループの一員として専門性や取扱商品の幅を活かしてお客様にお買い物の楽しさをご提供できることにあります。一人ひとりのお客様にご満足いただけるよう、引き続き接客・提案力に磨きをかけていきたいと思っております。



コジマ×ビックカメラ  
梶ヶ谷店店長  
網代 義明

## 節電家電の普及促進

当社は、電気使用量の削減に貢献する省エネ性能の高い商品の推奨販売を行っています。資源高等による電気代の高騰もあり、お客様の省エネに対する意識は高まっています。当



### 節水につながる商品の普及促進

貴重な資源である水を大切に使用するために、節水につながる商品の提案を行っています。手書きPOPやポスター等を活用し訴求を行っています。

### ライフスタイル、ライフサイクルに合った家電の紹介

フードロスの削減につながる商品や、忙しい毎日のお料理を少しでも楽にするための調理家電、家族みんなで使える



家族みんなで使えるシェア家電

### 売場づくりの工夫で、家電によって実現する豊かな生活をご提案しています

当社の店内では、販売員の組織であるSmileのメンバーが作成した目を引く手書きPOPや商品紹介動画などで、商品をご覧いただいただけでは伝わりにくい、家電を使うことで実現する豊かな生活をご提案しています。普段はなかなか気づきにくい便利なポイントなども家電販売員ならではの視点でご紹介しています。



執行役員  
営業本部 営業部長  
岩田 友和



環境に優しく便利で楽しい「みらい家電」が多くの人々に届くように、家電を作る人・使う人を応援していきます。

社の販売員の接客と、店頭のPOP等を活用し節電効果を分かりやすくお伝えしています。

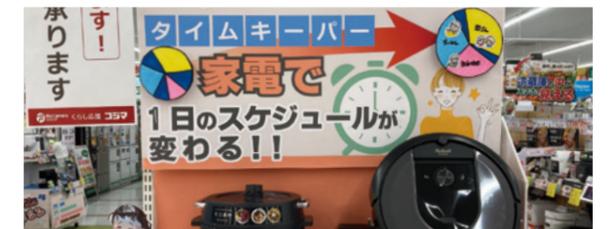


冷蔵庫で節電対策を促すPOP



洗濯機の節水節電訴求

シェア家電など、くらしを快適に、便利に、楽しくする家電の提案を行っています。



調理なべやロボットクリーナーの使用で自由な時間を創出

## Smileスーパーバイザー(SV)インタビュー

「Smile」は、体感・体験を用いてお客様に提案を行い、気づきを喚起し、「イベントの実施」と「売場づくり」の2つを大きな柱として女性たちにより活動を行って来ましたが、2023年9月より男性も加わり、活動が更に広がっています。



Smileメンバー 上段より  
落合、桑田  
濱本、平岡、高橋  
平安山、山下、藤井、河北

### 落合室長

Smileの強みは体感・体験を通じての販売活動ですが、この活動を通じてメンバー同士の横のつながりができて、様々な店舗のメンバーとの交流に刺激を受け、それが個人の成長につながっていると思います。活動を経て店長代理や店長になるメンバーも多く、次世代のメンバー育成と組織の活性化が重要であると感じています。2023年9月からは男性メンバーも活動に加わりましたので、新たな視点も取り入れて、それぞれの個性を活かし活躍してもらえる楽しい場となるようにしていきたいと思ひます。

### 桑田係長

私は10年以上Smile活動に携わっているのですが、当初は販売に対し様々な不安があり、活動を通じて商品知識や実演、接客の方法を学んだことで、少しずつ自信を持って売場に立てるようになりました。販売やイベントの楽しさを知ることができ、辛いことがあっても相談できる仲間が増えて、継続して頑張ることができました。今は本部でSmile活動を担当していますが、それぞれのメンバーの良いところを見つけて、そこを伸ばしてあげられるようにしていきたいと思ひます。

### 濱本SV

担当している地区が北海道・東北地区となり、地域色を活かした提案売場づくりを進めています。また、私たちが強みとする商品を実際に使ってみて、体感していただくイベントでは、お客様から「これ気になってたんだよね、気軽に試せる機会があつてよかった」などのお声をいただくことも多く、体感がきっかけとなり、お客様とのコミュニケーションが進み、実際に満足いただいたの購入にもつながっていると感じています。今後は首都圏でのトレンドなども担当地区に紹介し、売場づくりに反映させていきたいと考えています。

### 平岡SV

当社の発祥の地でもあります栃木県が私の担当地区に入っており、地元キャラクターを使った提案売場づくりなども進めています。また、担当地区では新しく加入したメンバーも多いため、イベントを行う際などに困りごとなかいかといった声かけを行い、気軽に相談してもらえるような雰囲気づくりに努めています。

### 高橋SV

担当する埼玉地区には、若手のメンバーが多いのですが、実演による販売を行うために商品を深く勉強することが、更なる知識の習得につながってお客様により良い提案ができるようになってきています。メンバーから売場づくりをどうしたらいいかなどの相談を受けたりもしており、実際少し教えてみると「売場づくりの奥深さが面白いです」といった声も上がっており、少しずつ教えていければいいなと考えています。

### 平安山SV

私の担当する地区も、新たに加入したメンバーが多く、中には自分だけが実演や売場づくりが上手くできていないのではないかと、不安を抱えているメンバーもおり、一人ひとりに対し、表情を見ながらコミュニケーションをとっていくことが大切だと感じています。楽しんで活動に参加して欲しいと思っていますので、私自身も笑顔でいることを心がけています。私が関わったメンバーが活動を経て店長代理や店長へとキャリアアップすることや、Smile SVとなっていくことを応援していきたいと思ひます。

### 山下SV

Smile活動は自分の強みを見つけられる場所だと思っています。通常の接客が少し苦手だと思ったこともありますが、売場づくりや実演などを通じて、様々な提案の仕方を学び、自分の強みとして活かすことができている。私は最近SVになりブロックの活動をまとめる立場となりましたが、メンバーとは立場による壁を作らずにフランクに接していき、活動をやってみたいというメンバーを増やしていきたいと思ひます。

### 藤井SV

Smileの強みはやはり実演イベントだと思ひます。お客様に商品を体感・体験していただく中でたわいもないお話ししながらコミュニケーションを取り、商品の良さをお伝えできることが強みであると感じています。そして、メンバーが私(藤井)の考えに偏らないように、メンバー間でどう進めていくかを話し合せて方向性を決めることができる環境づくりを心がけています。

### 河北SV

通常ですと販売を最優先にしていますが、活動では売場コンテストも実施しており、それぞれのメンバーが商品の魅力がしっかり伝わる、また販売にもつながることを意識してアイデアを練り、形にしていくことも行っています。形にすることは非常に難しいのですが、それが一人ひとりの成長にもつながっていると思ひます。また、時には私が指摘をしなければならないこともあるので、フランクに話はするものの、馴れ合いにならないよう意識をしています。



Smileメンバー出演動画



Smileメンバーによるテレビイベント活動

# リサイクル応援

— 循環型社会を目指した資源活用・再利用の推進 —



## 廃棄物の再資源化に向けた取り組み

店舗やオフィスで排出されるごみの分別を徹底し、リサイクルを推進しています。店長を対象とした廃棄物の減量や分別に関するセミナーを実施し、分別方法を明記したPOPを設置

するなど、従業員にごみの分別を根付かせています。

また、店頭にてリチウムイオン電池やニカド電池、ニッケル水素電池などの回収を行い、リサイクルに貢献しています。



店舗に展開しているごみの分別表



ポスター掲示でごみの分別を徹底



## 発泡スチロールの再資源化

2021年4月より、限りある資源の活用、GHG(温室効果ガス)排出量の削減に取り組むため、発泡スチロールの排出量が多い物流拠点に、小型減容機を導入しました。

家電の梱包などに使われている発泡スチロールは、そのままの状態ではごみとして処理されます。

しかし、発泡スチロールを減容機でインゴット化することに

より、ごみではなくリサイクル可能な資源に生まれ変わります。

PSインゴットとなった発泡スチロールは、高品質な再生PS原料として流通しておりプラスチックの資源循環に貢献しています。現在4拠点(2023年12月末現在)に発泡スチロール減容機を導入していますが、資源循環の更なる促進に向けて、今後拡大していく予定です。



減容前の発泡スチロール



減容機に投入



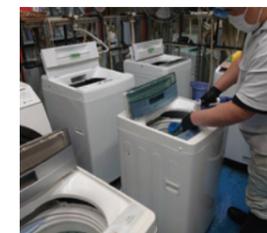
減容機で粉砕



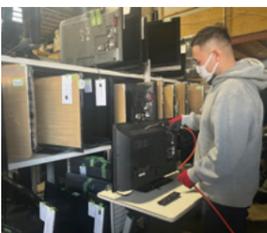
資源に生まれ変わったインゴット

## 下取り品の再商品化

「大型家電下取りサービス」を通して、お客様から不要となったテレビ、洗濯機、冷蔵庫を下取りしています(対象商品には条件があります)。お預かりした家電製品は協力会社によって清掃が行われ、使用可能な場合には再商品化します。この活動はビックカメラグループ内で連携を図り、当社が店舗を展開している全エリアを対象に行っています。



協力会社での再商品化



## インクカートリッジの回収

店頭でインクカートリッジ専用回収BOXを設置し、インクカートリッジのリサイクル・リユースの推進に努めています。



インクカートリッジ回収BOX

限りある資源を大切にするため、まだ使える家電を再商品化したり、製品の梱包に使われている発泡スチロールをもう一度資源にしたり、ごみを減らす社会づくりに貢献していきます。



# みらい応援店舗

—環境にも人にも優しく、暮らしのお役に立つ店舗の実現—



## 節電営業の取り組み

### デマンドコントローラー・遮熱ネット

83店舗のエアコンの室外機に遮熱ネットを導入し、冷暖房効率の向上を図りました。店舗内の快適さを維持しつつ、節電に努めています。

また、電気使用量の削減のために、エアコンの効率的な運用を行う「デマンドコントローラー」を14店舗に導入しています(2024年1月末現在)。順次、導入店舗を拡大予定です。

更に、店舗においても調光式LEDを導入し、開店前や閉店後の消費電力の削減に努めています。バックヤードの節電対策として、人感センサー付き照明を37(2024年1月末現在)店舗に導入しています。従業員による不要な照明のこまめな消灯なども行い、環境に配慮した店舗運営を行っています。



デマンドコントローラー



エアコン室外機に設置した遮熱ネット

## 店舗設備の進化

お客様に快適に店舗をご利用いただけるよう、設備の改良を進めています。男女問わず利用できる完全個室のベビーケアルーム(mamaro)を、既に導入済みのコジマ×ビックカメラ新座店、福島店に続き、新たにコジマ×ビックカメラ静岡店に導入しました。また、トイレ設備の改装も進めています。

2023年9月にグランドオープンしたコジマ×ビックカメラ聖蹟桜ヶ丘駅店では、ご年配のお客様や小さなお子様連れのお客様でも使いやすい、片手で動かせるショッピングカートを導入しました。車いすやベビーカーなどが通りやすい幅広の通路の確保や休憩スペースを設けるなど、快適な店舗づくりを行っています。



パパママスペース(mamaro)



授乳室内部



車いすも完備



キッズスペース

### ●マテリアリティに対する目標

GHG排出量の2030年までの削減率   2017年度比55%削減

環境に優しく、  
困ったときに役に立つ、  
いろんな人が使いやすい  
みらいのお店を目指して  
店舗を進化させていきます。



## 脱炭素社会の実現に向けた取り組み

### コーポレートPPA

再生可能エネルギーの活用を進めるため、「コーポレートPPA※」を導入しました。コジマ×ビックカメラ春日部店のほか6店舗(2023年8月末時点)の屋上に太陽光パネルを設置。

GHG(温室効果ガス)排出量の削減に寄与し、脱炭素社会の実現を推進しています。

※コーポレートPPA(Corporate Power Purchase Agreement):企業や自治体などの法人が発電事業者から自然エネルギーの電力を長期間(通常10~25年)購入する契約。



店舗屋上に設置した太陽光パネル

### ●PPAによる太陽光発電設備設置店舗(2023年11月現在)

店舗名	設置容量	運転開始	年間発電量目安
コジマ×ビックカメラ甲府バイパス店	176.3kw	2023年6月	202,051kwh
コジマ×ビックカメラ真岡店	126.2kw	2023年6月	130,624kwh
コジマ×ビックカメラ佐野店	126.2kw	2023年6月	133,991kwh
コジマ×ビックカメラ新船橋店	186.9kw	2023年6月	200,781kwh
コジマ×ビックカメラ清州東インター店	389.5kw	2023年6月	388,717kwh
コジマ×ビックカメラ春日部店	145.5kw	2023年6月	147,186kwh
コジマ×ビックカメラ福生店	228.7kw	2023年11月	223,023kwh

### EV充電設備

店舗に併設された駐車場に、EV充電設備の導入を進めています。

既にコジマ×ビックカメラ宇都宮本店等18店舗(2024年2月末時点)に設置しており、順次導入店舗を増やしていきます。



コジマ×ビックカメラ宇都宮本店のEVカー充電器



コジマ×ビックカメラ宇都宮本店の案内看板

## 環境にも人にも優しい店舗を目指します

当社はお客様のお住まいの近くに店舗を構え、地域の皆様とともに歩む会社として、環境にも人にも優しい店舗づくりを目指しています。コーポレートPPAの導入によるクリーンエネルギーの使用や、電力使用量の削減など自社でのGHG排出量削減の取り組みを進めるとともに、EV充電設備の導入によるEVカー普及のための環境の整備など、様々な面から環境への配慮に努めていきます。各種の取り組みにより、2030年までには2017年度比で、GHG排出量(Scope 1、2計)の55%削減を達成したいと考えています。また、困ったときに役に立つ、どなたでもご利用いただきやすい店舗を目指して、店舗を進化させていきます。



執行役員 総務人事本部 総務部長

成田 博芳

# みんなのまち応援

—楽しく暮らしやすく活気あふれる地域社会づくりに貢献—



## 地域の活性化に向けた活動の促進

地産商品や障がいを持った方が作った物品を販売するイベントなどを実施し、地域の皆様があたたかな交流を持てる場を提供しています。

また、毎月第3水曜日の朝に店舗の外周の清掃活動を実施し、まちの美化活動に貢献しています。



障がいを持った方が作った物品を店舗エントランスで販売



外周の清掃活動

## 地域課題の解決に向けた取り組み

詐欺被害や交通事故の防止に向けて、安全対策イベントを開催しています。2023年8月にはコジマ×ビックカメラ福島店にて、福島県警のご協力のもと、「安全対策フェア」を実施。店舗駐車場での交通安全講習や、振り込め詐欺被害の防止に役立つ「防犯機能付き電話機」などの防犯商品の紹介を行いました。



福島県警による交通安全講習



店内で防犯商品を紹介

## 地域スポーツの振興

地域に根差した家電量販店として、当社が店舗を構えている地域のスポーツチームを支援し、地域スポーツの振興に尽力しています。

スポーツが生み出す熱い戦いを、地域の皆様とともに応援しています。

<p>野球</p> <p>栃木ゴールデンブレーブス   福岡ソフトバンクホークス</p>	<p>バスケットボール</p> <p>千葉ジェッツ   宇都宮ブレックス   琉球ゴールデンキングス</p>	<p>サッカー</p> <p>ベガルタ仙台   清水エスパルス   栃木SC   いわきFC</p>	<p>アイスホッケー</p> <p>H.C. 栃木日光アイスバックス</p>
--	--	--	--

## 包括連携等の協定を締結

当社は自治体と協定を結び、活気あふれる地域づくりや災害対策のために協働しています。

2023年2月に福島県と「包括連携協定」を締結し、東日本大震災からの復興や地域の活性化に寄与する活動に取り組んでいます。また、流山市と「災害時における物資応援協力に関する協定」を締結し、災害時には当社が保有する家電製品

を優先的に提供することで、地域の皆様の生活を支援します。

このほか、協定を結んでいる栃木県や静岡市の地産商品を県外の店舗で販売する「栃木県フェア」(コジマ×ビックカメラ大東店：大阪府大東市)、「しずおか市フェア」(コジマ×ビックカメラ梶ヶ谷店：神奈川県川崎市)を実施し、地域の魅力を伝える活動も行っています。



福島県との協定締結



流山市との協定締結



栃木県フェアにてクッキー作り教室開催



しずおか市フェアにて特産品などが当たる抽選会を実施

# こども応援

—未来を担う子どもたちの様々なチャレンジを支援—



## 思考力を育む学びの場の提供

子どもたちに考える力を身につけてもらうために、「プログラミング教室」を開催しています。2023年5月にコジマ×ビックカメラ福島店にて、福島県の地元企業であるリビングロボット様と連携し、「あるくメカトロウィーゴ」を使用した教室を実施しました。



様々な種類のメカトロウィーゴを用意



教室で学んだことを発表

## モノづくりを体験する場の提供

スタッフや親のサポートを受けながら、子どもたちがミニ四駆を組み立て、コースを走らせる「ミニ四駆工作教室」を開催しています。工作教室を通して、モノづくりの難しさや形ができあがっていくワクワク感、自分の手で作り上げたものがコースを走るときの喜びや達成感を体験いただいています。



一人ひとりを丁寧にサポート



完成したミニ四駆を走らせる親子

## スポーツを通じた学びの場の提供

地域密着型の家電量販店として、地域のスポーツチームと連携してイベントを開催。未来を担う子どもたちの夢やチャレンジを応援する「キッズドリームプロジェクト」に取り組んでいます。スポーツを通じて、喜びや達成感、仲間を大切にする気持ちなどを感じてもらい、成長する機会を創出しています。

### 2023年に開催したキッズドリームプロジェクトのイベント

- 3月 第4回 栃木ゴールデンブレーブス×コジマ 野球教室
- 5月 第3回 コジマ×エスパルス Dream Cup in SDF静岡
- 6月 第2回 ブレックス×コジマ バスケットボール教室
- 9月 H.C. 栃木日光アイスバックス×コジマ アイスホッケーシュート体験会

子どもたちが楽しく過ごせるお店づくりをして、夢の実現に向けたチャレンジを支援します。



### 第3回 コジマ×エスパルス Dream Cup in SDF静岡

2023年5月、当社がクラブパートナーとして応援している清水エスパルス様のご協力のもと、サッカー大会を開催。小学2年生を対象とし、静岡県内のサッカーチーム5チームと、清水エスパルスサッカースクール生で構成された3チームの合計8チームが参加。子どもたちは優勝を目指して一心不乱に試合に臨み、熱の入ったご家族の声援が飛び交う、活気あふれる大会となりました。



### 第2回 ブレックス×コジマ バスケットボール教室

2023年6月、当社がオフィシャルスポンサーを務める宇都宮ブレックス様のご協力のもと、バスケットボール教室を開催。栃木県内のミニバスケットボールチームに所属する小学生24名が参加。現役プロ選手の高島紳司選手とスクールコーチ3名が指導にあたりました。子どもたちが普段ふれあう機会が少ないプロ選手と直接交流をできる、貴重な場となりました。



# 働くなかま応援

— 様々なメンバーがいきいきと働ける環境の整備 —



当社は経営戦略の中に「人的資本経営の推進」を掲げており、将来にわたり会社が成長するために最も大切な資本は従業員であると考え、従業員エンゲージメントの向上に努めています。

## 健康経営の推進

社長自らがCWO\*となり、健康経営の実践を通じて従業員の物心両面の満足度を向上させ、どの世代でも笑顔があふれる職場を目指しています。

### コジマウォーキングイベント

健康維持、増進に向け各店店长、店長代理、係長、本部の課長職以上などを対象に、日々の歩数を競い合う「コジマウォーキングイベント」を開催。管理職者を中心としたメンバーの健康に対する意識改革を行っています。歩数は、担当業務ごとにチームを組んで対抗戦を行い、それぞれのチームが一丸となって取り組みました。体組成計による日々の体重計測も行い、参加者のBMI値にも改善傾向が見られました。

\*CWO(Chief Wellness Officer):「最高健康責任者」を意味しており、福利厚生だけでなく、企業経営の視点から、従業員の健康を保持・増進するポジションにあたります。



スマホアプリで歩数を競うウォーキングイベント

### 健康経営ワークショップ

健康経営の更なる推進に向け、各店舗、本部各部署に健康経営推進担当者を任命し、定期的に会議を行っています。また、メンバーから対象者を選出し、健康経営推進のためのワークショップを開催。ストレスチェックの結果から自店舗や自部署の課題点を見つけ、改善活動を進めています。また、定期的に管理職向けにハラスメント研修を行っています。各種相談窓口も設け、従業員が気軽に声を上げられる仕組みを構築しています。



健康経営のワークショップ



コンプライアンス遵守ポスター

### 働きやすい環境と制度の充実

当社は、従業員が自身の能力を発揮し、活躍できるように環境と制度の充実に努めています。健康経営優良法人への認定(2020年より4年連続)や、プラチナくるみんの取得、女性活躍の推進の取り組みが優良な企業としてえるぼし認定(第2段階目)取得をしています。また、働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいる企業として、きらり大賞(2023年3月)を受賞しました。



プラチナくるみんの取得



健康経営優良法人への認定



えるぼし認定を取得



宇都宮市きらり大賞受賞

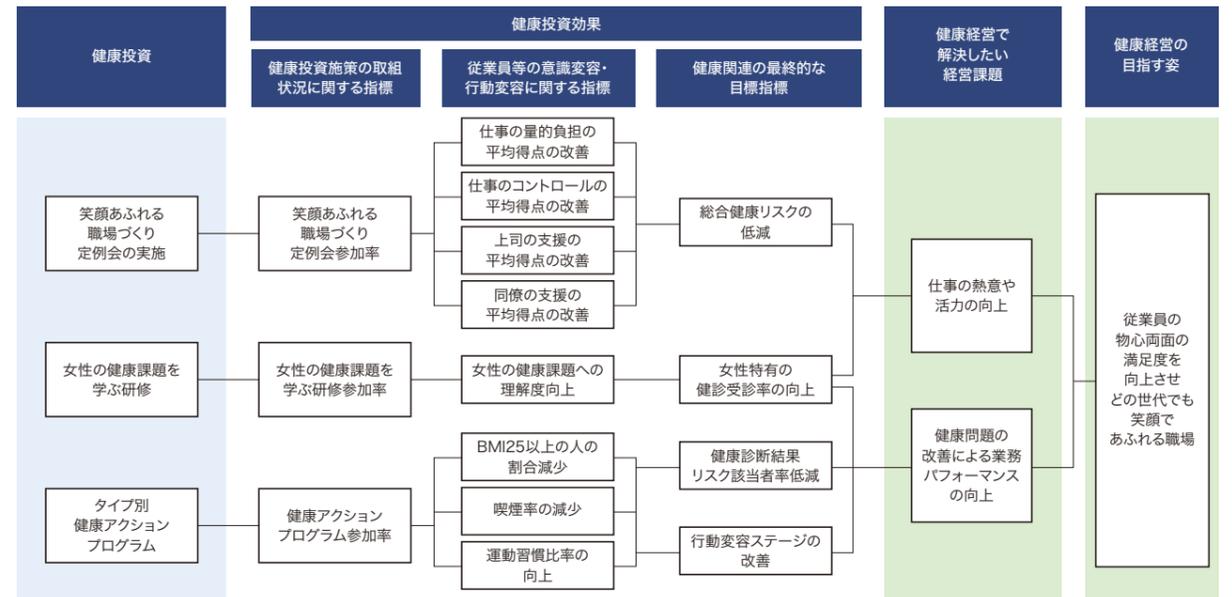
2023年9月に女性活躍・ウェルネス推進室を「ウェルネス推進室」と「ダイバーシティ推進室」の2室に再編。多様な人材が働きやすい環境・制度の充実に向け、より細やかな対応を進めていきます。

## ●マテリアリティに対する目標

管理職に占める女性労働者の割合	2030年8月期までに15%
男性労働者の育児休業取得率	2030年8月期までに80%
全正社員に占める女性の割合	2030年8月期までに25%



## ●健康経営戦略マップ



## ●その他の指標

項目	目標	実績		
		2020年9月 ~2021年8月	2021年9月 ~2022年8月	2022年9月 ~2023年8月
家電製品アドバイザー資格取得率(%)	80.0	62.6	64.3	66.6
障がい者雇用率(%)	2.70	2.36	2.30	2.42
健康診断実施率(%)	100.0	100.0	99.0	100.0
ストレスチェック実施率(%)	98.0	97.0	98.0	99.0
特定保健指導実施率(%)	100.0	77.4	85.0	81.8
平均残業時間(時間)	20時間以下	19.9	19.5	18.2
有給休暇取得率(%)	70.0	48.6	56.1	62.8
離職率(%)	4.00	3.55	4.24	4.27
傷病による休職率(%)	1.00	1.70	1.70	1.30
ワークエンゲージメントの向上(%)*	50.0	45.0	45.0	45.0

\* 測定尺度は、新職業性ストレス簡易調査票のワークエンゲージメント関連2問に独自質問3問を追加した5問で構成した質問紙により調査。回答結果をスコア化し、FINCウェルネスサーベイ導入企業全回答者を母集団とする偏差値と、その全回答者平均を算出し、自社従業員の結果についての偏差値50以上の従業員割合を指標としています。

## ダイバーシティの推進

### 定年再雇用制度の充実

定年後もやりがいを持って仕事を続けられるように「仕事内容」や「役割」を明確化しました。「目標成果管理の導入」などにより、これまでのキャリアを最大限に活かして活躍できる制度となっています。

### 育児休業取得率の向上

女性のみでなく、男性も育児休業を取得しやすくなるように、店長や店長代理がお子様生まれる従業員に対し、育児休業制度について丁寧に説明しています。また、育児休業の取得が家族や職場の仲間との良い関係づくりにつながるよう、周りの従業員に対しても周知を図っています。

### 不妊治療休暇制度の導入

共働き家庭の増加に伴い、働きながら不妊治療に取り組む方が多くなっており、2023年4月1日より不妊治療休暇制度を導入しました。



育児・介護両立支援相談窓口ポスター



女性の健康相談窓口ポスター

## 責任者インタビュー

2019年4月に女性活躍・ウェルネス推進室が新設され、コジマで働く全ての人に健康で長くいきいきと活躍してもらえる環境づくり、また、男女の区別なく自身の能力を発揮し、活躍できる職場風土を目指してきました。現在女性の管理職比率は5%となり、徐々に高まっており、2030年までに15%を目指して更に育成に取り組んでいきたいと思ひます。また、2023年9月の組織再編により、女性活躍・ウェルネス推進室は「ウェルネス推進室」と「ダイバーシティ推進室」の2室となりました。当社では従業員の平均年齢が年々上がっておりますので、ウェルネス推進室は従業員の健康課題に特化し、健康増進のための運動プログラムの実施や、禁煙への取り組み、健康診断の二次健診受診へのフォローなど、よりきめ細かな対応を進めていきたいと思ひます。



執行役員 総務人事本部  
人事部 ウェルネス推進室長

大野 幸恵

2023年9月より人事部内に「ダイバーシティ推進室」が設置されました。多様な人材がそれぞれの能力や個性を発揮し、いきいき働き続けることができる環境の実現を目指します。一例として、女性に関する取り組みでは、マネジメント層を育成する女性リーダー研修の実施やキャリアプランの設計など女性従業員の定着・活躍を促す取り組みを進めていきます。この他にも様々な取り組みを進め、従業員のエンゲージメントの向上を目指していきます。



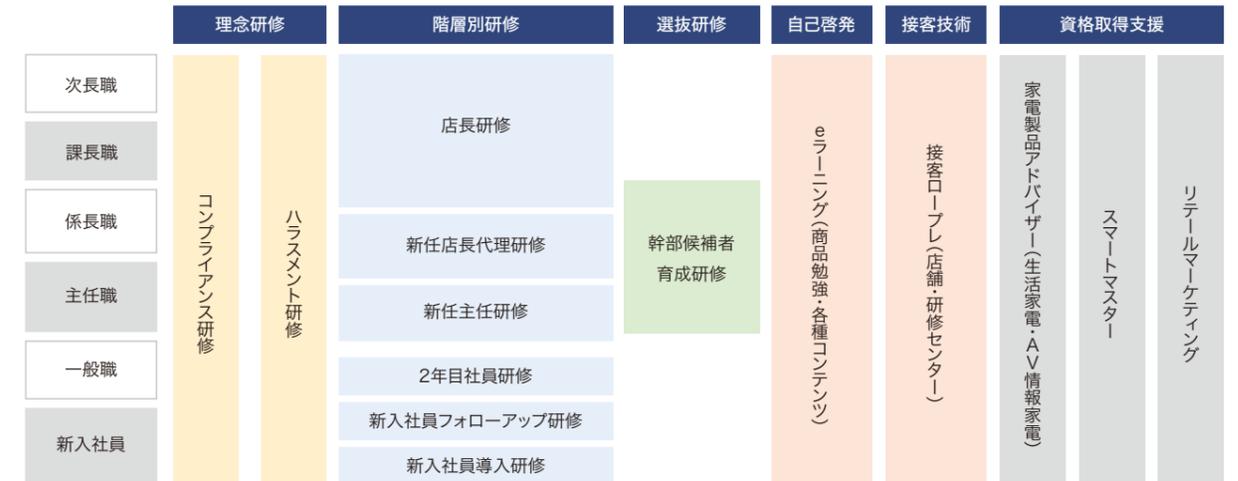
総務人事本部 人事部  
ダイバーシティ推進室長

野口 弥生

## 継続した成長を支える研修システム

従業員のスキル向上と、継続した成長のために階層に応じた研修を設けています。理念研修や各階層に応じた階層別研修、幹部候補者育成のための選抜研修、更に自己啓発の

ためのeラーニングシステムを導入。また、タレントマネジメントシステムを活用し、適材適所を考慮した人材配置やスムーズなキャリア形成を進めています。



### 研修センター開設

従業員の接客力の向上のために、2023年10月に東京都板橋区に研修センターを新設しました。2022年からCS推進室で行ってきた接客ロープレの手法を活用の上、教育プログラムを更に強化。お客様の生活に寄り添い、付加価値を提案できる販売員の育成を行っています。講師は店頭での販売経験も豊富な当社の従業員が専任で務めており、研修参加者は接客に必要な様々な技術を徹底して学習しています。



研修センター



クリーナーのロープレ

### 若手幹部候補者育成「TOP GUNプロジェクト」

変化が早く先の予想がつきにくい状況の中でも、柔軟かつスピーディーに時流に乗り、対応できる「次世代を担う若手リーダー」の育成に向け、若手社員のキャリアを考慮した中長期的、かつ計画的な能力開発が必要となっています。当社では若手選抜者に対するプロジェクトとして、2年間の活動の中で、能力開発研修の受講機会や様々な社内プロジェクトへの参画機会、異動・配置による成長機会を提供し、様々な体験と人脈形成を通じ、早期に店長を目指す人材育成プログラムを設けています。



座学での知識習得



実機に触れながらの研修

## 人権尊重への取り組み

当社は「家電を通じて 笑顔あふれる 明るく暖かいみらいをつくる ぐらし応援企業であること」をパーパスとして定めており、長期的な企業価値向上と社会の持続的な発展の両立に向けた取り組みを強化し、サステナビリティ経営を推進しています。「ぐらし応援」企業としての当社の全ての事業活動の前提となるのが、従業員、お客様、お取引先様、株主

様をはじめとする当社の事業に関わる全ての人の人権尊重です。当社は、人権に関する国際規範や関連法令を遵守するとともにその精神に従い、事業に関わる全ての人の人権を尊重するため、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、「コジマ人権方針」を2023年5月29日に策定・公表しました。